データ抽出：看護部　褥瘡対策委員会
コメント作成：看護部　褥瘡対策委員会

入院患者における褥瘡発生率（病院全体）

目的

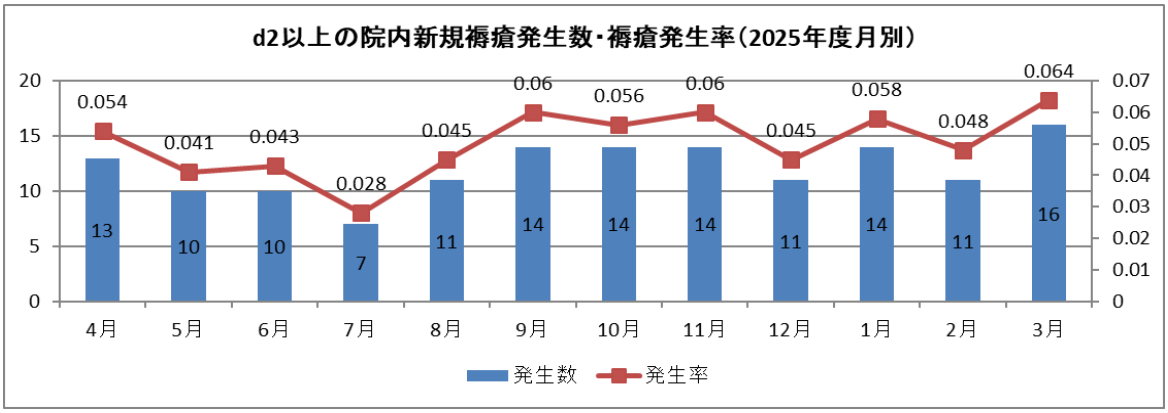
病院内褥瘡患者の実態把握

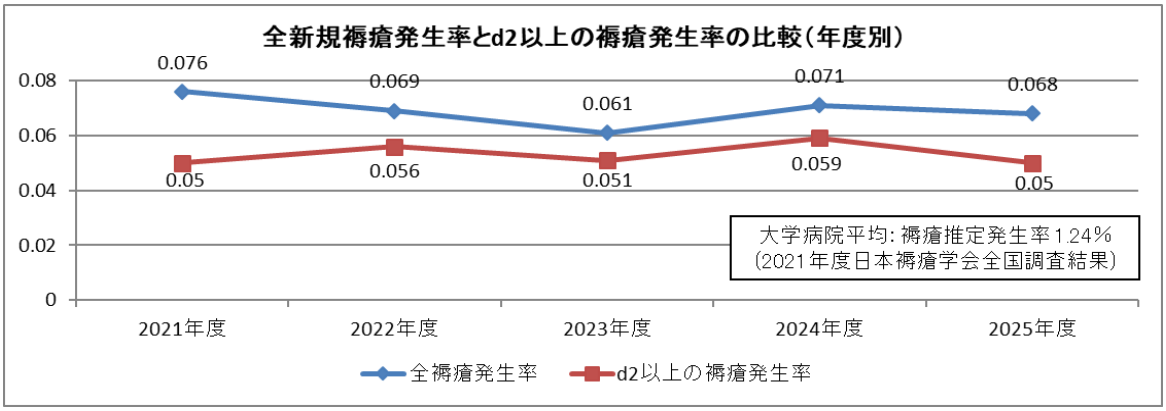
分母

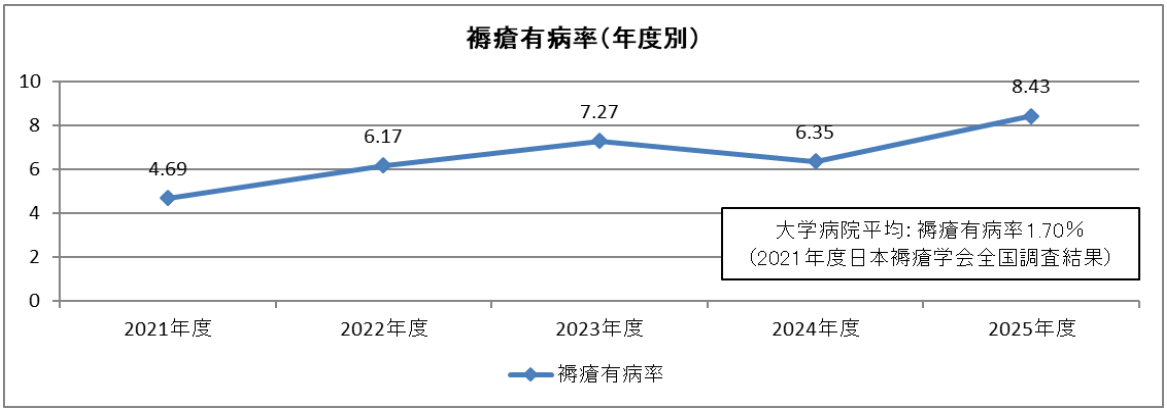
同日入院患者または持ち込み患者または調査月間以前に院内新規褥瘡発生患者を除く入院患者延べ数

分子

d2(真皮までの損傷)以上の院内新規褥瘡患者数







データ分析コメント

当院は高度救命救急センターを持つ大学病院として、重症度の高い患者さんを数多く受け入れています。また、ご自宅や前医で既に床ずれ(褥瘡)がある状態で救急搬送や入院される方の割合も高い傾向にあります。そのため、褥瘡発生ハイリスク状態の方が多く、救命救急センターや集中治療室に国内ではまだ導入している施設が限られるロボット技術を用いた高機能エアマットレスを配置することで褥瘡発生低減に努めています。私たちは、患者さんが入院中も快適に、安心して療養生活を送っていただけるよう、以下の対策を徹底しています。

1.環境整備：患者さんの状態に合わせた高機能なエアマットレスや体位変換クッションを計画的に配備し、床ずれ予防に努めます

2.スタッフ教育の徹底：褥瘡対策チームを中心に最新のケア技術を学ぶ研修を行い、全病棟で質の高い看護を提供できるよう努めてまいります。